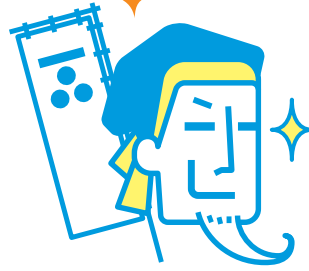


大活躍じゃ!



大江氏の活動した地域 (寒河江市と近隣の町)

大江氏は鎌倉時代後期に寒河江荘を直接治めるようになりました。寒河江荘はおおよそ今の寒河江市と西村山郡(西川町・大江町・河北町・朝日町)が該当します。これらの市町には城や橋、菩提寺、古戦場など、大江氏ゆかりの場所が数多く伝わっています。



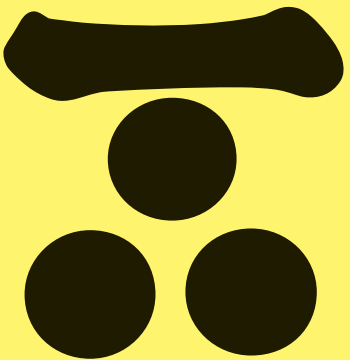
寒河江市への交通アクセス

JR	東京	山形新幹線 2時間30分	山形	左沢線 26分
	仙台	仙山線 1時間7分	山形空港	タクシー 25分
飛行機	東京	1時間	山形空港	タクシー 25分
	名古屋	1時間5分		
	大阪	1時間15分		
	札幌	1時間15分		
車	東京	東北自動車道 3時間27分(315km)	村田JCT	山形自動車道 41分(53km)
	仙台	東北自動車道 12分(18km)	山形JCT	
	新潟	国道113号と国道287号 3時間5分(164km)		

- JR寒河江駅
☎0237-86-2861
- 山交バス寒河江営業所
☎0237-86-2181
- 寒河江タクシー
☎0237-86-5151
- 中央タクシー
☎0237-86-4111



大江氏とその歴史



大江氏の家紋「一文字三ツ星」

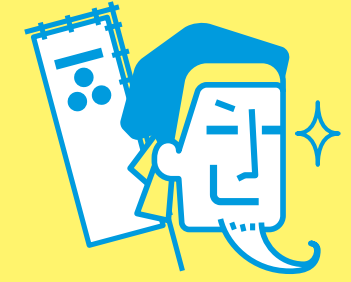
鎌倉幕府で源頼朝の側近だった大江広元(おおえのひろもと)は、文治5年(1189)寒河江荘の地頭となりました。広元は多忙なため、妻の父である多田仁綱(のりつな)を寒河江に派遣し、現地を治めさせたといわれます。承久3年(1221)に起こった承久の乱で、広元の長男・親広(ちかひろ)は上皇方に付いたため、寒河江に敗走したと伝わります。

親広から数えて5代目にあたる元頭(もとあき)からは、鎌倉を離れて寒河江を現地で直接治めるようになります。南北朝時代の戦いの中では、大江氏は防御のために領内に支城を設置しました。8代時氏(ときうじ)の頃に寒河江城は三の丸まで拡張し、そのお堀の用水に引かれたのが二の堰でした。また、領内には当主や一族の菩提寺や保護を受けた寺院が数多く作られていきます。天正12年(1584)、18代高基(たかもと)は山形城主・最上義光との戦いに敗れ、6月28日御楯山(大江町)で自害し、寒河江大江氏は滅亡しました。

大江氏が寒河江を治めた400年間、とくに直接治めた元頭以降の300年間の影響は、地域の成り立ち、寺社、文化など様々な面で現在でも数多く残っています。

大江広元ゆかりの地

巡ってみよら 寒河江市 大江氏マップ



[お問い合わせ]
 寒河江市教育委員会 生涯学習課
 〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西333番地
 TEL:0237-86-8231 FAX:0237-86-2201